

第8回 イノシシやシカは意外とジャンプしない

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 堂山宗一郎氏

イノシシやシカは、柵を飛び越えるイメージを持たれがちです。しかし、思ったよりジャンプしないことが調査によりわかりました。

私たちの研究グループでは、イノシシの跳躍力試験を行いました。目の前に高さ80cmの柵を置いても、飛び越えるイノシシはいませんでした。低い高さから徐々に上げていく訓練を繰り返して、やっと80cm程を飛び越えました。野外の試験では、ジャンプの得意な個体だけが100cmを飛び越えましたが、それも低い高さから訓練しての結果でした。

シカでも試験を行いました。いきなり高さ100cmを飛び越えたのはオスだけで、メスは越えませんでした。訓練をするとメスも飛び越えるようになり、オス135cm、メス123cmが最高記録でした。野外の試験では、最高記録が140cmでした。

一方で、イノシシやシカが高い柵を飛び越える姿を見たという話もよく聞きます。

それには理由があります。イノシシやシカにとって足の怪我は命に直結する一大事です。そのため、柵の中へ侵入する時は怪我をしやすいジャンプをできるだけ避け、柵の隙間から潜り込むなど、安全第一な行動をとります。しかし、人間に見つかった時などは命に関わる緊急事態のため、足の怪我よりも逃げることを優先して柵を飛び越えます。

平地に設置する柵であれば、イノシシで1m、シカで1.6～1.7m程の高さで飛び込みによる侵入を止めることができます。傾斜地に設置する場合は、動物の目線が上がってしまうので高さを上げて調節してください。

